

全国高校駅伝と益田出身の陸上選手について

2022年12月16日

矢 富 邦 久

全国高等学校駅伝競走大会（ぜんこくこうとうがっこうえきでんきょうそうたいかい。略して「全国高校駅伝」）は、現在、毎年12月に京都府京都市で開催されている駅伝大会です。全国高等学校体育連盟、日本陸上競技連盟、京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、毎日新聞社の主催で、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の1つにもなっています。

なお、競技としての最初の駅伝は、東京が首都となって50周年となった記念として、讀賣新聞社が主催し、1917年4月27日に行われた「東海道駅伝徒歩競走」とされています。この時は関西組と関東組に分かれ、京都の三条大橋を午後2時に出発し、東京の上野不忍池（しのばずのいけ）までの23区間、約508キロメートルを昼夜問わず走り抜けるもので、先着の関東組がゴールに到着したのは翌々日4月29日午前11時34分でした。過酷な競技だったようです。この時の関東組のアンカーは金栗四三でした。

さて、「駅伝」という競技名は、江戸時代における東海道五十三次における宿駅伝馬制からヒントを得たとされています。実は、「駅伝」という言葉自体は、日本書紀にも記載されているほど古いものです。都と地方の間の道路網に、古代の30里（約16キロメートル）毎に置かれた中継所のことを「駅」といい、駅には宿泊施設や人、馬が配置されていました。駅に朝廷の使者が到着すると、次の駅まで乗り継ぎの馬を用意する仕組みが整っており、この制度を「駅制」とか「伝馬制」といい、江戸時代には東海道五十三次における駅制、伝馬制として宿駅伝馬制が設けられていました。

閑話休題

全国高校駅伝の歴史を振り返ると、1950年（昭和25年）に男子のみの大会として初めて開催され、女子の部は1989年（平成元年）から開催されるようになりました。

他方、現在の都大路（京都）が舞台となったのは1966年（昭和41年）からで、それまでは大阪府での開催でした。もともと、大阪時代の1962年（昭和37年）と1963年（昭和38年）は奈良県もコースに含まれていたようです。

そして、現在、競技は女子の部が午前、男子の部が午後に行われます。女子の部はマラソンの半分（ハーフマラソン）の21.0975キロメートルを5人で、男子の部はフルマラソンと同じ42.195キロメートルを7人で繋ぎ

ます。1992年（平成4年）の男子43回，女子4回大会までは10位以内が入賞とされていましたが，1993年（平成5年）の男子44回，女子5回大会からは8位以内が入賞とされるようになりました。

出場校ですが，記念大会を除いた大会では，例年10月中旬～11月中旬に開催される各都道府県の予選で優勝した47校が出場します。沖縄県が正式に参加するようになったのは1974年（昭和49年）の男子第25回大会からです。なお，第1回は山梨県が参加せず，第30回大会は北海道が出場を辞退しています。記念大会で2枠の出場枠が与えられるのになぜ北海道が参加を辞退したのか，その理由は，調べてみましたが分かりませんでした。

5年ごとに行なわれる記念大会では，都道府県代表47校に加えて，地区代表として11地区（北海道・東北・北関東・南関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・北九州・南九州）から11校が出場します。なお，節目となる大会においても記念大会と同様に地区代表の出場が可能になる場合があります。

さらに，過去には都道府県代表とは別に，アメリカ統治時代の沖縄や韓国の高校がオープン参加の形で出場したこともありました。

さて，わが益田農林高校ですが，初出場は1958年（昭和33年）の第9回大会でした。当時はまだ益田産業高校でした。この時の順位は，46位です。出場46校でしたので，要するにビリということです。それから1967年（昭和42年）の第18回大会まで10年連続出場するのですが，この間で最も成績が良かったのは，1962年（昭和37年）の第13回大会で，11位でした。この時は2区の水津清治選手が区間新記録を出しています。

このようにして栄華を誇った益田産業高校ですが，1968年（昭和43年）の第19回大会で連続出場が途切れます。この時期の大きな出来事として，益田産業高校は1967年（昭和42年）に益田農林高等学校と校名改称し，家庭科を家政科に改称しています。名前を変えたのが原因ではないと思うのですが，連続出場が途切れてしまいました。

では，代わりにどこが1968年（昭和43年）の第19回大会で島根県代表として出場したかと言えば，私立益田工業高校でした。現在の益田東高校です。私立益田工業高校は1969年（昭和44年）の第20回大会で出雲工業高校に島根県代表の座を奪われますが，1970年（昭和45年）の第21回大会と1971年（昭和46年）の第22回大会に出場しています。私立益田工業高校の3大会での成績は，28位，41位，31位でした。この時代の私立益田工業高校の監督は先日亡くなられた田原正居さんだったようです。ちなみに，私が聞いた話では，田原正居さんは1950年（昭和25年）のインターハイ・三段跳びで2位入賞したとのことでした。

益田農林高校は，1968年（昭和43年）の第19回大会から1971年

(昭和46年)の第22回大会まで涙を飲んでいたのですが、1972年(昭和47年)の第23回大会で島根県代表の座を取り戻すと、1979年(昭和54年)の第30回大会まで8年連続で出場します。この間、益田農林高校は、私が出場した1977年(昭和52年)の第28回大会で準優勝しました。初出場がビリだったことを考えると、感慨深いものがあります。この時のタイムは2時間12分44秒。優勝した宮崎県代表小林高校の優勝タイムは2時間10分43秒でした。益田農林高校は、4区で区間賞をとっています。ちなみに、これまで島根県勢が区間賞をとったのは3回で、うち2回は益田農林高校です。

ただし、男子は1979年(昭和54年)を最後に出場がありません。女子も同じようです。益田勢がまた都大路を駆け抜けてもらいたいと切に願っています。

ところで、ここで益田市が生んだ2人の名選手・名指導者の話をしたいと思います。田畑外司(たばた そとし)さんと潮 喬平さんです。

田畑外司さんは益田市の材木商の子として生まれ、高校は益田高校でした。田畑外司さんは陸上の砲丸投げと円盤投げで頭角をあらわし、島根県大会を勝ち抜いた後、地区大会の中国高校大会で3位に食い込みました。が、インターハイでは入賞できませんでした。高校卒業後は進学せず、家業の手伝いをするを選んだのですが、ひょんなことから、ある選手の指導を任されることになりました。その選手が潮 喬平さんです。

潮 喬平さんは高校3年次の1952年(昭和27年)のインターハイの100メートルで11秒3の2位、200メートルで3位、4×200メートルリレーで4走を務めて5位、国体の19歳未満100メートルで11秒5の2位に入るなど大活躍しました。大学は中央大学に進学し、4年時の1956年(昭和31年)に日本インカレで3冠(100メートル、200メートル、400×100mリレー)を達成し、日本選手権100メートルも制しました。1956年(昭和31年)のメルボルンオリンピックには100メートルと200メートルと4×100メートルリレーに出場し、4×100メートルリレーで1走を務めて準決勝進出に貢献しました。実業団時代には、リッカーマシン所属の1958年(昭和33年)に東京アジア大会の100メートルと4×100メートルリレー(1走)で銀メダルを獲得しています。

現役引退後はプロ野球・日本ハムファイターズのトレーニングコーチ等を務めるなどし、2010年(平成22年)3月25日、肺炎のため逝去されました。

ここで、砲丸投げと円盤投げの選手だった田畑外司さんがなぜ短距離の潮 喬平さんの指導をしたのか疑問に思われるかもしれませんが、田畑外司さんはその生前に「30メートルダッシュ走では潮に負けたことがない。」と話して

いたそうで、スタートダッシュの指導をしていたのでしょうか。

田畑外司さんは潮 喬平さんとともに1952年（昭和27年）秋の東北国体に島根県代表となって活躍しました。潮 喬平さんは19歳未満100メートルで2位となり、田畑外司さんは青年砲丸投げで12メートル13を記録し、3位に食い込みました。その後2人は一緒に中央大学に進学し、田畑外司さんは大学3年生で日本選手権の砲丸投げと円盤投げともに3位に入賞、4年生でインカレで円盤投げに優勝し、インカレと日本選手権の両大会の砲丸投げで2位となりました。

卒業後は旭化成に入社し、主に円盤投げに取り組み、国内で行われた国際大会で日本代表として活躍し、1959年（昭和34）年に日本歴代3位となる45メートル52をマークしました。1963（昭和38）年に選手兼監督兼副部長に就き、1964年（昭和39年）を最後に現役を引退しますが、この年、45メートル96（日本歴代10位）の自己ベストを出しています。また、この1964年（昭和39年）は、当時、伊勢路であった第9回全日本実業団駅伝で旭化成が大会新で初優勝した年です。田畑外司さんも駅伝に縁があるようで、なんとなく縁を感じます。なお、田畑外司さんは2018年（平成30年）7月に逝去されています。

参考文献・HP等

ウィキペディア（全国高等学校駅伝競走大会）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%85%A8%E5%9B%BD%E9%AB%98%E7%AD%89%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E9%A7%85%E4%BC%9D%E7%AB%B6%E8%B5%B0%E5%A4%A7%E4%BC%9A>

ウィキペディア（駅伝競争）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%A7%85%E4%BC%9D%E7%AB%B6%E8%B5%B0>

陸上競技・YGO-JAPAN（全国高校駅伝 | 島根県男子歴代記録）のHP

<https://rikujou-news.com/archives/3167>

ウィキペディア（島根県立益田産業高等学校）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B3%B6%E6%A0%B9%E7%9C%8C%E7%AB%8B%E7%9B%8A%E7%94%B0%E7%94%A3%E6%A5%AD%E9%AB%98%E7%AD%89%E5%AD%A6%E6%A0%A1>

ウィキペディア（益田東高等学校）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9B%8A%E7%94%B0%E6%9D%B1%E9%AB%98%E7%AD%89%E5%AD%A6%E6%A0%A1>

芦屋市のHP（田畑外司）

<https://www.city.ashiya.lg.jp/sports/yukari/tabata.html>

ウィキペディア（潮 喬平）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%BD%AE%E5%96%AC%E5%B9%B3>